

令和7年度 江戸川区立上一色南小学校 学校説明会 資料



次第

- 1 開会の言葉
- 2 校長より学校経営方針説明
- 3 上南小の教育活動について
- 4 生活指導について
- 5 特別活動について
- 6 校内研究について
- 7 質疑応答
- 8 閉会の言葉

令和 7 年度 学校経営方針

江戸川区立上一色南小学校

校 長 三 田 智

1 目指す学校像 及び 基本理念

- 子ども【わくわく】！ … 子どもたちの「笑顔」があふれる楽しい学校
- 教職員【生き生き】！ … 教職員が「やりがい」をもって、はつらつと働ける学校
- 保護者・地域【安心】！ … 保護者・地域の方から「信頼・応援」していただける学校

2 学校目標 及び 目指す児童像

<学校目標>

- ・あかるく
- ・かしこく
- ・なかよく
- ・たくましく



<目指す児童像>

- ・挨拶等をのびのびと、当たり前の方が当たり前ができる子
- ・問題を解決するためにどうしたらよいか、自ら考えようとする子
- ・相手の気持ちを考え、力を合わせることができる子
- ・苦手なことにも、最後までねばり強くあきらめないでやり抜く子

3 目指す教職員像

- 児童に寄り添い、子どもたちのよりよい変容を認め、互いに成長していく教職員
- 他の教職員と協調・協働しながら、自己の能力向上を目指す教職員
- 児童、保護者、地域、同僚から信頼される教職員

4 目標を達成するための方策

◎【楽しい】学校の創造

・「授業」の充実

…児童が「できそう、分かりそう」と感じられる、「できた！分かった！」と達成感を味わえる授業を展開・工夫する。

(教員の本分は「授業」！ よい授業が生活指導面の安定につながる)

・友達との関わり

…「一緒に～～」、学級・学年・縦割り班（なかよし班）での活動を通して、豊かな人間関係を築く。

・教職員との関わり

…「児童－教職員」の対話、ともに過ごす時間を大切に、信頼関係を築く。

・「挑戦」したことに対する称賛

…「失敗したっていいじゃないか」の精神を大切に、結果ではなく、苦手なことから逃げず前向きに挑戦した姿勢を認め、自己肯定感・自己有用感を高める。

◎【規範意識】の醸成（当たり前のことを当たり前に…）

・「上南・7つの合言葉」及び「上南・スタンダード」の徹底

…上記2つをもとに、学習規律・生活規律の徹底を図り、子どもたちが楽しく安全に過ごせる環境をつくっていく。「7つの合言葉」については、毎月児童へのアンケート調査を行い、その結果を校内に掲示するとともに、学校 HP にも掲載し、保護者の方との共有・連携を図る。

・「いじめ」に対する毅然とした対応

…「いじめ」は、どの学校、どの学年・学級にも起こりうるもの、いつ発生してもおかしくないものという意識を学校全体でもつ。また、「本人がいじめられていると感じれば、それはいじめと認識する」ことを学校全体で共通理解する。そのうえで、

『いじめをしない・見逃さない、差別や偏見は許さない』

という学校のスタンスを子どもたちにも指導する。

生活指導夕会、アンケート調査、いじめ対策委員会等を意図的・計画的に実施し、未然防止、早期発見・再発防止に努める。

・授業以外の時間、学校以外の時間についての「ルール・マナー」の指導

…なぜそのようなルール・マナーがあるのか、必要なのかを、児童に指導・理解させた上で、実践力の向上を図る。

・「えどタブルール」「SNS 学校・家庭ルール」の協力・実践

…タブレットの使用の仕方については、学校だけで解決できる問題ではない。保護者の方と現状を共有、連携・協力のもと児童の指導に当たっていく。

◎【開かれた】学校運営

・保護者・地域の方々の声を傾聴する姿勢

…保護者の方、地域の皆様の意見・要望等をしっかり受け止めながら、ともに手を携え、子どもたちの成長を支えていく。

・迅速・的確・誠実な対応

…迅速・的確・誠実な対応を心掛けていく。事後の対応の仕方について丁寧に合意形成を図りながら、保護者・地域の方々との連携を深め、子どもたちが安全に、安心して学校に登校することができるように努める。

< 約2ヵ月間、上南小の子どもたち、教職員と接してみて… >

※子どもたちが落ち着いて学習・生活できている。教職員の「協力体制」が素晴らしい！

※【校庭】が広い！…子どもたちが思い切り！体を動かせる環境がある！細かいルール不要。

※【空き教室】が多い！…子どもたちの「クールダウン」や「着替え」の場所等が確保できる！

◎日々、学校ホームページを更新しておりますので、お時間があるときに御覧ください。

上一色南小学校の学校教育活動

教務部

あかるい子をはぐくむために

○生活指導・スクールカウンセラーによる教育相談・特別支援教育、関係機関と連携した支援の充実

○高学年によるあいさつ運動

○豊かな感性の育成

音楽・図工の授業、音楽集会、クロッキータイム、クロッキー展、学習発表会、展覧会、やきもの展、音楽会、年間5回の俳句づくりなどを通して、豊かな感性の育成を図る。

かしこい子をはぐくむために

○年間を見通した指導計画・指導と評価の一体化

・本校の実態に沿った年間指導計画による指導

○基礎・基本の定着

・「上南スタンダード」（学習の基礎・基本）の徹底

・少人数指導（算数）3年生以上で実施

・EDO スク（補習教室）の実施

○読書科

・朝読書や読書活動、図書ボランティアによる読み聞かせ

・図書館司書との連携

○一部教科担任制（高学年で実施）

・専門性を生かした指導による理解の促進

○専門講師とALTの活用

・外国語専門講師とネイティブ講師による授業アシスタント

○ICT機器の活用

・ミライシードを活用した習熟学習、区から一人一台貸与されているタブレットを活用した学習

○校内研究・指導法研修・OJT 等

- ・問題解決型の研究授業の実施（低学年・中学年・高学年で年 1 回ずつ）
- ・OJT 研修の充実

なかよくする子をはぐくむために

○地域交流（都立鹿本学園との交流）

○異学年交流活動の充実

- ・なかよし班活動（レクリエーション活動、なかよし班対抗長なわ大会）
- ・1 年生を迎える会、6 年生を送る会等

たくましい子をはぐくむために

○体育的活動の充実

- ・らんらんフェスティバル（年 2 回の持久走大会）、かみなんタイム（短なわを使った運動）、長なわ集会（学期に 1 回学級毎に取り組む）

○健康で安全な生活づくりへの取組

- ・月 1 回の避難訓練、安全指導、年 1 回の防犯訓練やセーフティ教室（ゲストティーチャーを招いての SNS にかかわる犯罪被害防止の授業）、歩行者シミュレーターを活用した交通安全教室等を通じて、「自分の身は自分で守る」資質をはぐくむ。

本校の生活指導について

生活指導部

1 「上南スタンダード」の意識づけ

■「上南スタンダード」とは、「チャイム着席」「話を聞く姿勢」「発表の仕方」などを、低学年から、どのクラスでも同じように共通実践することにより、学びの環境を整える取組です。

2 「7つの合言葉」の意識づけ

■「7つの合言葉」とは、自分自身の生活を見直して、基本的な生活習慣を身に付けるために児童が取り組む毎月のふりかえりです。

- ・早ね 早起き 朝ごはん
- ・あいさつは 大きな声で 元気よく
- ・時間を守って しっかり勉強
- ・わすれない 宿題 持ち物 やさしい言葉
- ・お話は 終わりがかんじん 最後まで
- ・おやくそく きまりを守って みんなニコニコ
- ・ピカピカと みがくと光る 教室ろう下

※楽しく学校で活動できるように、「朝、学校に送り出すまでにできる家庭で取り組めること」を、御家庭でも意識して取り組んでください。

3 「あいさつ運動」

■毎朝、登校時間に「♪挨拶は魔法の力」という曲を流しています。

「一人一人の勇気・力が、みんなを変える。あいさつは魔法の力。あいさつで、このまち変えよう」という歌詞が明るいメロディーと共に流れます。気持ちよく「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子。ひいては「思いやりのある子」が増えていくように、日々取り組んでいます。

4 「食育指導」

■「給食」も学校生活における大きな楽しみの一つです。栄養バランスはもちろん、季節や郷土のメニュー、世界のメニュー、アレルギーや健康に配慮した給食となっています。食べるごとに「食」に関する興味がわいてくるような給食を目指しています。

5 「特別支援教育」

■特別支援教育の一環として、コミュニケーションスキルを高めたり、自立支援の指導を行ったりする「いぶき学級」（巡回指導）を週1回行っています。一人一人の個性が活かされる学校を目指しています。

■個に応じたケアを充実するために、SC（スクールカウンセラー）が配置されています。子どもたちも保護者の皆様も気軽に話をしたり、相談したりすることができます。

6 「情報へのすばやい対応」をめざして

■メール配信ソフト「tetoru（テトル）」の活用

学校からのお知らせ（学校だより、学年だよりなど）、教育委員会からの不審者情報や事故の情報などの提供は「tetoru」で行います。

本校の特別活動について

特別活動部

特別活動における本校の特色

◎異年齢集団（なかよし班）活動

- ・異学年の活動を通し、よりよい人間関係をつくりあげていくために、全学年が所属する「たてわり班」（なかよし班）を編成し、年間を通して活動していく。

<なかよしタイム>

- ・月1回を原則として、6年生（班長）を中心に遊びの計画を立て、班ごとに活動する。

<クロッキー集会>

- ・学年順にモデルを決め、班ごとにクロッキーを描く。
- ・年に2回、クロッキー展（前期10月、後期2月）を行う。

<6年生を送る会>

- ・5年生が中心になって計画を立て、在校生が6年生の卒業を祝う会（2月末に実施予定）を行う。

◎クラブ活動（4年生以上）

- ・児童が興味・関心をもつ活動について、異学年で協力して計画を立て、一年間活動する。
- ・児童が主体となって、活動の計画を立てたり、異学年で協力したりする中で、健全な自主性と豊かな社会性を養い、個性の伸長を図る。

◎委員会活動

- ・自分たちの学校生活を向上させようという意図のもとに、学校生活に関する諸問題を解決する活動、及び、学校内の自分たちの仕事を分担処理する活動を自発的・自治的に行うことで、自主性と社会性を養い、個性の伸長を図る。

◎上南の子まつり（昔あそび集会）

- ・今の遊びの中にはほとんど見られなくなった「こま回し」「お手玉」などの昔あそびを行う。昔あそびを行う中で、その良さを感じ、特性に触れ、技術を習得し自ら向上をめざしたり、集団で競い合ったりするあそびの楽しさを知る。また、あわせて地域の方や保護者とのふれあいの中で豊かな人間関係をつくる機会とする。

令和7年度 校内研究

研究主題

進んで考え、ともに学ぶ楽しさを実感できる児童の育成

副主題

～問題解決への意欲を高める授業づくり～



◇◆◇校内研究とは◇◆◇

- ・本校の児童の実態から、身に付けさせたい力を取り上げて研究をする。
- ・どのように指導をすれば、児童に必要な力を身に付けさせることができるのか、日々の授業の進め方や日常活動の在り方を考えていく。
- ・低、中、高学年分科会に分かれて教材研究や授業づくりを行う。
- ・研究授業を行い、授業改善と授業力向上に努める。
- ・講師を招き、指導を仰ぐ。

◇◆◇上一色南小学校の研究◇◆◇

【問題解決型学習（3段階の授業過程）】

◇わかる（問題の把握）

問題に興味・関心をもち、課題把握ができる。

◇考える（自力解決・かかわる）

問題を解決する見通しをもち、自分の考えをもつことができる。

友達の考えから、意図的に学ぶことができる。

◇できる（まとめ・適用問題）

学んだことを表現したり、活用したりできる。

【今年度の研究計画】

- ・年間3回（低学年・中学年・高学年で1回ずつ）の研究授業実施
- ・毎月、研究推進委員会、及び各分科会の実施

学習意欲にあふれ、思考力や
表現力を働かせて新たな問題
を解決していこうとする児童

基礎基本をもとに、
考えたり関連付けたりする
ことができる児童

目指す児童像

目的意識や見通しをもち、筋道
立てて考えることができる児童

友達とかかわり合い、
自分の考えをさらに広げたり、
深めたりすることができる児童